

LP協会保安第21～113号
平成22年3月30日

都道府県協会会長 殿
企業会員 御中

(社)エルピーガス協会
会長 川本 宜彦
保安委員長 立原 孝夫

「事故半減のための緊急対策(第2弾)」の実施について
(お願い)

平成21年11月12日付けLP協会保安第21～74号において「事故半減のための緊急対策(第1弾)」として、①販売事業者に起因する事故防止、②業務用厨房施設等のCO中毒事故防止の実施についてお願いしたところです。

しかしながら、平成21年の事故件数が185件に減少したものの、B級事故・CO中毒事故・傷者数が大幅に増加するなど事故内容が悪化した結果となっております。

これらを踏まえ、3月16日開催の保安委員会において検討を行い、下記のとおり、まず、平成21年に大幅に増加し重大事故につながる恐れがあることから「業務用厨房施設のCO中毒事故防止」さらに、事故全体の約2～3割を占めている「販売事業者に起因する事故防止」を緊急対策(第2弾)として実施することとなり、3月25日開催の理事会で承認されました。

つきましては、都道府県協会におかれましては、貴協会会員に対し、また、企業会員におかれましては、貴社の従業員及び系列の販売事業者(配送・保安センター等含む)に対し、本緊急対策(第2弾)の実施方よろしくお願いいたします。

【緊急対策(第2弾)の概要】 (詳細は別添1のとおり)

I. 業務用厨房施設のCO中毒事故防止

1. 業務用厨房施設のオーナー、管理責任者や従業員等への注意喚起
COの危険性、ガス機器使用時の換気、清掃等の注意喚起の徹底を促すと
共にチラシ・マニュアル等を活用し、再度事故防止の徹底。
2. 業務用厨房施設のオーナー、管理責任者や従業員等への安全機器等の設置
促進
不燃防付き機器への交換、業務用CO警報器の促進。

II. 販売事業者に起因する事故防止

1. 供給設備の期限管理及び老朽化対策の徹底等
期限切れの調整器、高・低圧ホース及び検漏切れのマイコンメータを交換。
2. 空家の充てん容器等の対応
閉栓先において、充てん容器等が腐食による漏えい事故が発生しているた
め、不要な充てん容器等を撤去。
3. 全ての従業員等への保安教育(注意喚起)の実施
容器交換作業員及び設備工事作業員等への注意喚起。

III. 実施時期

平成22年4月～7月末

※ 平成16年度から実施してきた「全国一斉LPガス保安高度化運動」は平成21年
度で終了し、今後は事故の状況等を踏まえながら今回の緊急対策に準じた対策を引続
き検討・実施することとしております。

また、毎年度末に実施している「燃焼器具交換・埋設管点検、安全機器普及状況等」
の調査は引き続き実施します。(調査項目については、別途検討します。)

以 上

発信手段：Eメール

担当：保安グループ(斎藤均、内倉、渡辺、瀬谷)

別添1

「事故半減のための緊急対策(第2弾)」の実施内容

I. 業務用厨房施設のCO中毒事故防止

COは、無色、無臭で気づきにくく、毒性は強いことから、事故に至ると施設の方だけでなくお客様などを巻き込むケースもでており、重大事故につながり社会的影響が大きいことから、同施設のオーナー、管理責任者や従業員等に対し、第1弾で実施した内容を含み再度注意喚起をお願いし、事故防止の徹底を図る。

1. 業務用厨房施設のオーナー、管理責任者や従業員等への注意喚起

- ① 一酸化炭素(CO)は無色・無臭の気体であり吸い込んでしまうと軽症の場合は頭痛・めまい・麻痺等の中毒症状となり、高濃度のものを吸い込んでしまうと最悪の場合は死に至ることもあることを十分認識するよう促す。
- ② CO中毒を防止するため、ガス機器使用時は必ず換気をするよう促す。
- ③ ガス機器の火がつきにくい、異臭がするなどの異常が起きた場合には、不完全燃焼を起こしている可能性があるため、LPガス販売事業者に連絡の上、至急、点検を受けるよう促す。
- ④ 排気ダクト、換気扇、ガス機器の給排気部及びバーナー部分が油、ほこり等で閉そくしないよう、常に清掃を心がけるよう促す。
- ⑤ 業務用厨房向けマニュアル等を業務用厨房施設に配布・説明し、再度事故防止の徹底を図る。

※ ガスコラボ等及び経産省が作成したチラシ・マニュアル等を活用するなどし、注意喚起を徹底する。



2. 業務用厨房施設のオーナー、管理責任者や従業員等への安全機器等の設置促進

- ① 屋外設置式の機器や不燃防付き機器への交換が可能なものは、交換を優先する。
- ② 経年劣化等による老朽化した機器については、事故を起こす可能性が大きいいため、交換を勧める。
- ③ 交換が困難な場合を含み業務用CO警報器を促進する。

Ⅱ. 販売事業者に起因する事故防止

近年、販売事業者に起因する事故が、事故件数全体の約2～3割を占めていることから、販売事業者の責務として、供給設備の期限管理及び老朽化対策等の徹底、並びに全ての従業員等に対し、第1弾で実施した内容を含み保安教育等を実施する。

1. 供給設備の期限管理及び老朽化対策の徹底等

(1) 期限管理の徹底

- ① 老朽化により腐食した機器のガス漏れ事故が発生しているため、期限切れの調整器、高・低圧ホースがある場合は速やかに交換する。
- ② 検満切れによりマイコンメータの保安機能が損なわれ、事故を防止できなくなる恐れがあるため、検満切れをなくす。

(2) 老朽化対策

- ① 配管・埋設管等を確認し、老朽化が判明した場合は速やかに交換する。なお、老朽化の確認について、配送事業者の協力を求める。

2. 空家の充てん容器等の対応

- ・ 閉栓先において、充てん容器等が長期にわたって放置され、腐食による漏えい事故が発生しているため、不要な充てん容器等を撤去する。

3. 全ての従業員等への保安教育（注意喚起）の実施

(1) 容器交換作業員への主な注意喚起

- ① 容器交換時には、容器と高圧ホースの締め込みを確実に行う。
- ② 容器と高圧ホースの接続時には、水分、ゴミその他の異物のないことを確認する。
- ③ 予備側の容器が接続されているかを確認する。

※ 経済産業省作成のマニュアルを活用する。



(2) 設備工事作業員への主な注意喚起

- ① 設備工事時には、各種器具・配管・ホース等の接続部分の締め付けを確実に行う。
- ② 工事終了後に漏えいの確認を確実にを行う。

Ⅲ. 実施時期

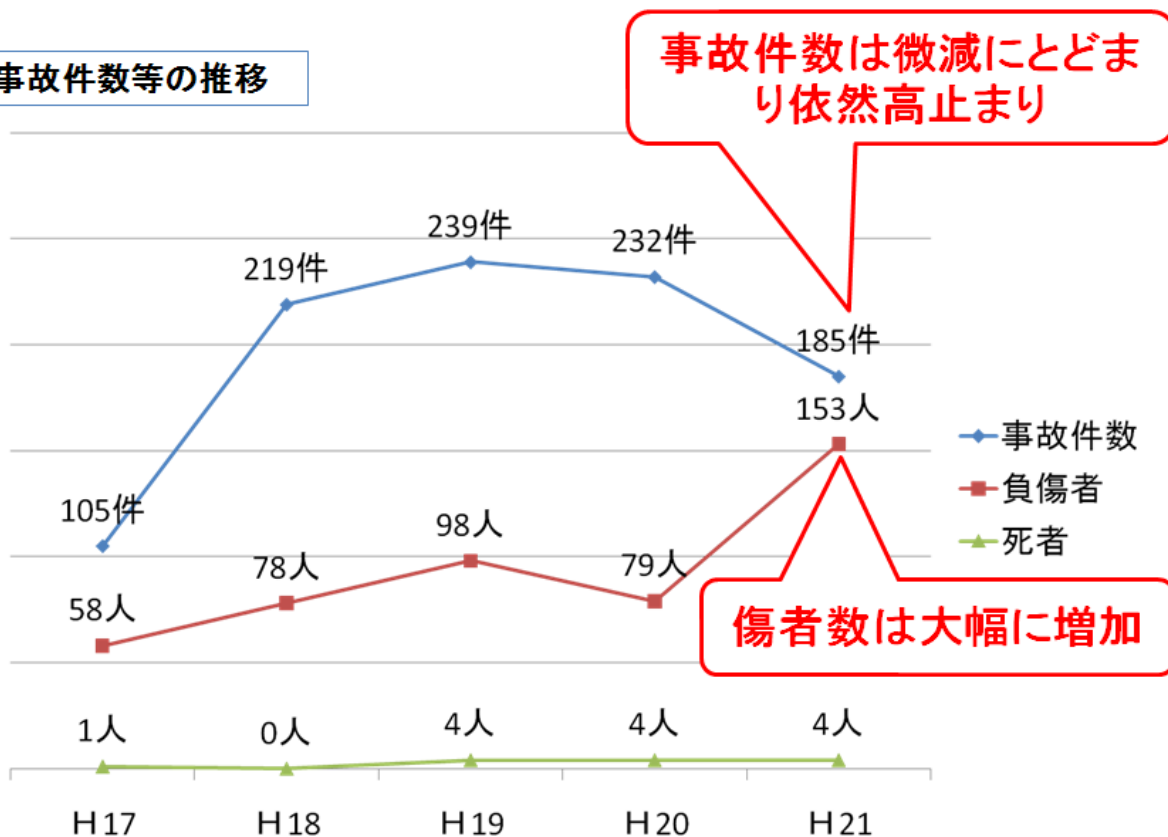
平成22年4月～7月末

以上

参考 1

事故件数等

1. 事故件数等の推移



2. 業務用厨房施設のCO中毒事故件数等

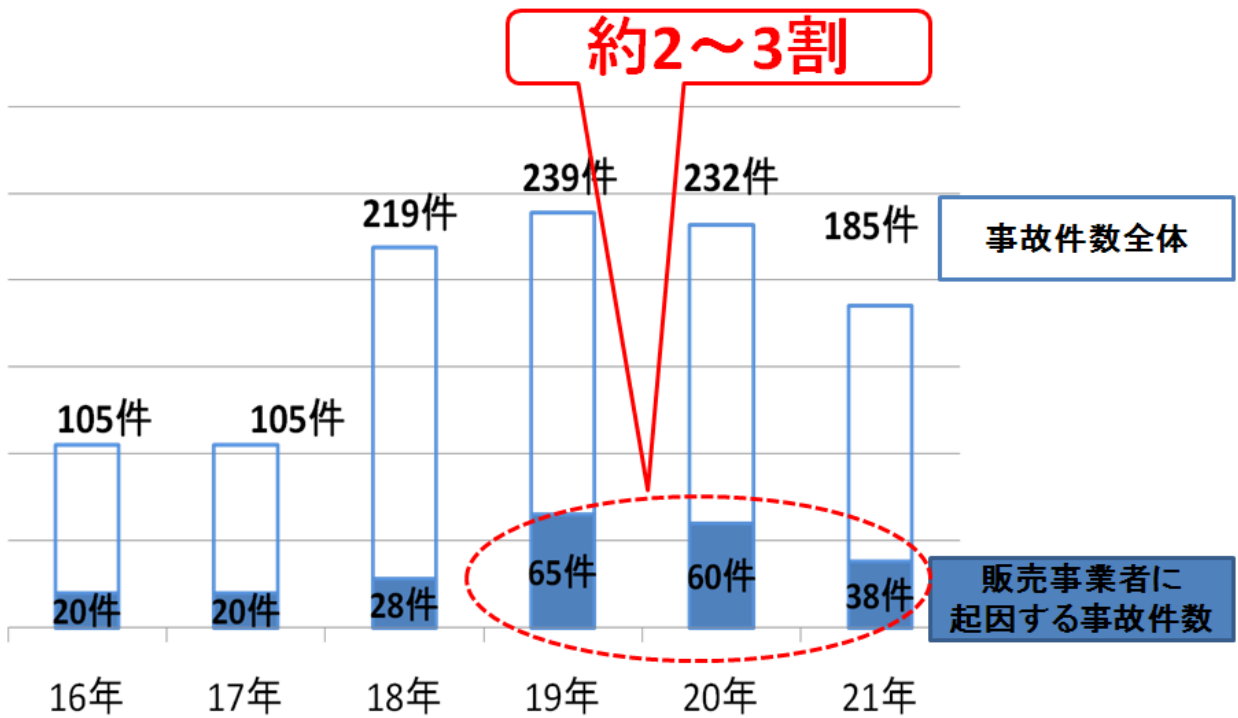
①事故件数



②事故件数、被害者数、死者数

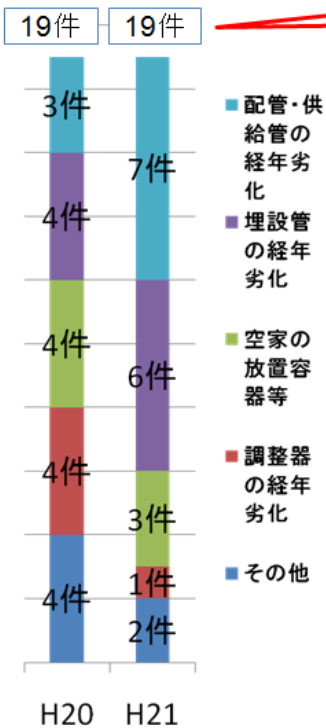
H20			H21		
事故件数	被害者数	うち死者	事故件数	被害者数	うち死者
3件	5人	2人	12件	65人	2人

3-1. 販売事業者に起因する事故件数の推移



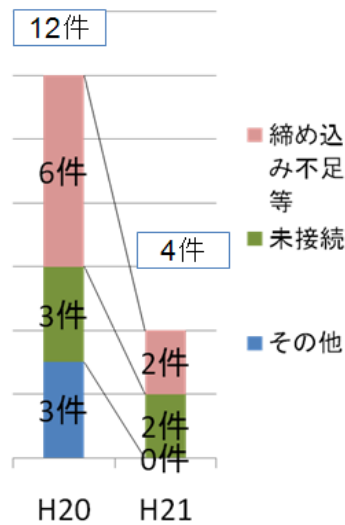
3-2. 販売事業者に起因する事故の内訳

①腐食等劣化

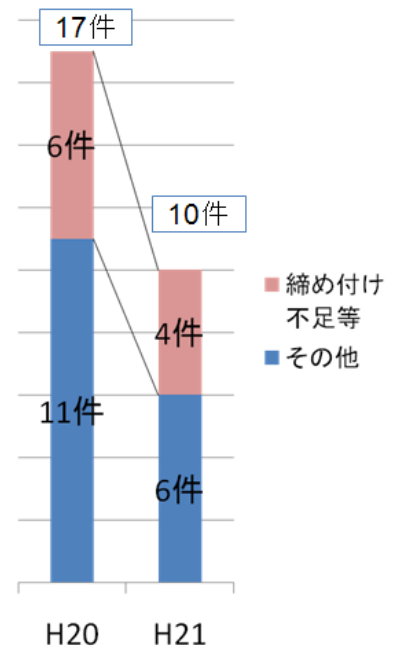


腐食等劣化が減少していない

②容器交換時等接続ミス等

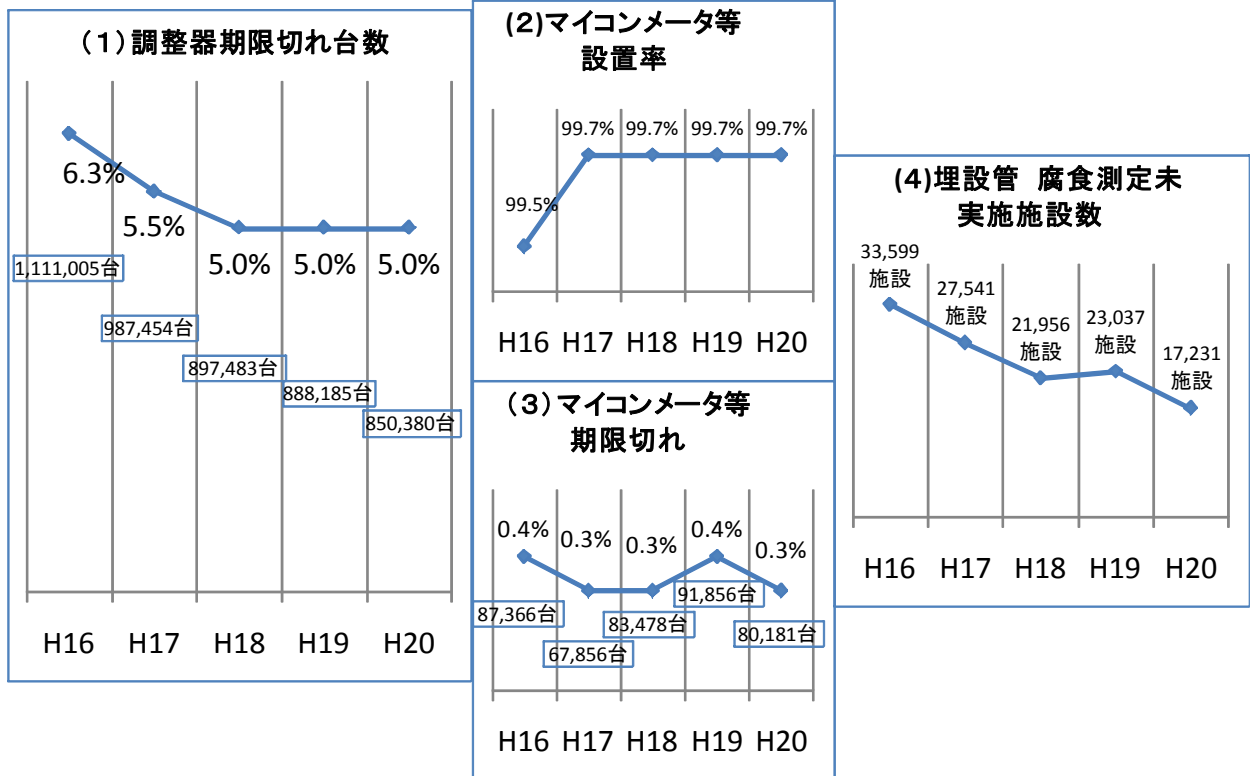


③工事ミス・作業ミス



参考 2

期限切れ台数等



* 高・低圧ホース、配管は調査データなし

別添2 (経済産業省資料)

最近のLPガス事故発生状況

○年別事故件数及び死傷者数

年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
項目													
件数	68	75	79	78	87	90	120	105	105	219	239	232	185
うちB級以上事故	7	11	7	10	4	3	9	6	1	2	5	4	9
死者(人)	6	9	5	8	2	4	7	2	1	0	4	4	4
傷者(人)	64	82	66	73	69	64	86	88	58	78	98	79	153
うちB級以上事故	17	31	14	20	23	8	6	18	0	5	10	1	78

[注]平成21年の数値は速報値のため、変更等があります。※傷者には、一酸化炭素中毒症者を含む(以下同じ。)

- ・昭和54年の793件(死傷者888人)をピークに、マイコンメーターなど安全器具の普及等により平成9年の68件(死傷者70人)まで直線的に減少。
- ・しかし、平成10年以降、事故件数は少しずつ増加に転じ、平成18年以降は急激に事故件数が増加。
- ・平成21年の事故件数185件(対20年▲47件)、死亡者は4人で前年と同数、B級事故は9件で対前年5件増、CO中毒事故が14件と多発、傷者数は153人で前年の倍。
⇒平成21年の事故:件数は微減にとどまり依然高止まり、事故内容は大幅に悪化。
- ①B級事故:9件は平成15年と同数で後戻り。死者数は減少ならず。
- ②負傷者数:153人で平成4年162人に次ぐ数値。
- ③CO中毒事故:14件は前年6件の倍増で、平成4年16件に次ぐ数値。死症者数は88人で昭和61年以降最大(昭和61年と平成4年:38人)

1

年別一酸化炭素(CO)中毒事故推移表

年	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
項目																								
件数	18	11	19	9	7	8	16	7	5	9	10	9	11	12	8	6	8	9	6	10	5	11	6	14
うちB級事故	11	8	12	8	6	4	12	5	2	6	4	5	5	3	2	0	2	4	1	1	0	3	2	6
死者(人)	21	12	17	18	10	5	23	5	2	7	9	4	4	2	3	0	4	4	0	1	0	2	2	3
症者(人)	17	19	16	6	5	16	15	12	6	19	18	21	24	28	13	17	18	17	21	22	13	29	8	85
うちB級事故	3	8	4	4	2	2	3	5	1	11	1	14	6	9	0	0	1	1	7	0	0	9	0	65
死症者計(人)	38	31	33	24	15	21	38	17	8	26	27	25	28	30	16	17	22	21	21	23	13	31	10	88

2

○事故件数等推移表

